

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 高齢者の健康対策と社会参加の促進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	地域活動に参加している高齢者の割合（％） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	基準値
		27.7	14.1	-	35	
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業01 高齢者の健康対策と社会参加の促進

指標	高齢者の健康維持への取組平均実践項目数（全7項目中）（項目） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	基準値
		3.18	3.11	-	3.5	
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					(比較不可)
		対前年度	(比較不可)	目標達成度	(---)	

基本事業01 高齢者の健康対策と社会参加の促進

指標	就労している74歳以下の高齢者の割合（％） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	基準値
		27.5		38.0	30	
評価	（状況）令和元年度の実績に比べ3.2ポイント増加している。 （原因）元気な高齢者が働ける環境が整っていたり、働く意欲のある高齢者が増えているため。					(向上)
		対前年度	(向上)	目標達成度	(達成)	

基本事業02 介護予防の推進

指標	介護予防教室参加者の改善割合（％） 【長寿課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	基準値
		86.4	72.8	85.2	88	
評価	（状況）令和元年度の数値に近づいてきた。 （原因）令和2年度、3年度と比べれば、活動量がコロナ前に比べ増えていることが要因である。					(低下)
		対前年度	(向上)	目標達成度	(---)	

基本事業02 介護予防の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【介護保険課】	81.4	82.0	82.0	83	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和3年度と同様 (原因) 昨年度と同様、日常生活に支障があり真に介護サービスが必要な人の申請が多かったため。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 高齢者福祉の担い手育成

指標	高齢者福祉ボランティア団体等の参加人数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	188	272	166	250	☂️ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績に比べ、現状値が106人減少した。 (原因) ボランティア自身の高齢化もあり、登録者数が減少していることが要因である。					対 前年度
						☂️ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業03 高齢者福祉の担い手育成

指標	高齢者のための福祉ボランティアへの参加意向がある市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	10.1	12.7	-	15	(比較不可)
評価	R 4 はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 高齢者福祉・介護サービスの充実

指標	介護サービス利用者の満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	89.7		97.2	90	☀️ (向上)
評価	(状況) R元同比、10.4ポイント増加した。 (原因) 介護サービスの質が問われるような社会状況や、市が施設に対する指導監督を実施していることが要因である。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業04 高齢者福祉・介護サービスの充実

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	一般高齢者サービス利用者の満足度(%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	90		-	96	
評価	R4のアンケート項目より削除のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

指標	要介護認定を受けている人のうち、在宅で生活している人の割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	85.7	90.1	91.0	88	☀️ (向上)
評価	(状況)前年度に比べ、現状値が0.9ポイント増加した (原因)介護認定者数は年々増加しているが、自宅やサービス付き高齢者向け住宅等で生活している認定者が増加している。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目 標 達成度
						🏠 (達成)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

指標	地域包括における高齢者の相談対応件数(件)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	6,249	7,435	7,433	9,000	☀️ (向上)
評価	(状況)前年度に比べ、実績が2件減少した。 (原因)高齢者の増加に伴い相談件数が昨年度と比べほぼ同様である。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

指標	地域包括3課題への取り組み件数(累計)(件)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【長寿課】	25	7	6	27	☔️ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が1件減少した。 (原因)前年度はコロナ感染症拡大防止の観点から3部会の活動を自粛したが、R4年度はオンライン形式で、「自立支援型」の地域ケア会議を行った。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業05 地域包括ケアシステムの推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	高齢者虐待件数（認定）（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		【長寿課】	9	20	12	0
評価	(状況)前年度に比べ、8件減少した。 (原因)コロナ禍の令和2年・3年度が増加していることを踏まえると少しずつではあるが、外出ができる状況が増えていることが、件数が減少している要因である。 減少はしているが、通報に対し迅速な調査・確認を行い、必要に応じて、分離するなどにより、高齢者の安全を確保した。	(件) 				対 前年度